

昭和40年4月5日第三種郵便物認可  
(旧「公衆衛生」)

2018年1月1日発行

第597号(通算)

発行:奇数月1日

会員購読料:1月10円(年間60円)

一般購読は別途送料

# 環境と健康

発行者

一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~  
広島県環境保健協会  
佐藤均  
広島市中区広瀬北町9番1号  
郵便番号 730-8631  
電話 082-293-1511番  
振替口座01380-2-27511  
URL http://www.kanhokyo.or.jp/

新年、あけまして  
おめでとうございます。

公衆衛生推進委員の皆さまをはじめ、健康と環境の課題に取り組んでいたいいる皆さまには、平素から地域に根付いた地道な活動を通じて県民の健康づくりと環境の保全にご尽力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、健康分野では、昨年10月に見直された国のがん対策推進基本計画』で、がん



理事長 佐藤 均

## 新年のご挨拶



第58回広島県公衆衛生大会(一般財団法人広島県環境保健協会創立60周年記念式典 第58回広島県公衆衛生大会)が、12月1日に広島国際会議場フニックスホールで開催され、県内各地から公衆衛生推進委員や行政事務担当者など、約600人が参加しました。

この大会は、公衆衛生の向上に日々努力する個人や団体を称え、知識や経験を交流し合い、真に健康な県民生活の実現に寄与することをねらいに行っています。

式典では、県知事、県医師会長及び環保協理事長から公衆衛生活動において多大な成果をあげた48個人・16団体の功績を称え、表彰状が授与されました。

次に、地区衛生組織代表者会議の今津俊昭議長が大会宣言(案)を読み上げ、人々がより快適で健やかに暮らせる活力ある「コミュニティの実現

をめざし、これまでにも増して地域のリーダーとして機能を発揮することを宣言し、会場の大きな

検診の受診率向上が喫緊の課題となつており、「がん検診へ行こうよ!」キャンペーンなどの継続的な取り組みが重要になつています。

また、環境分野においても「瀬戸内海環境保全広島県計画」における、地域ぐるみの清掃活動や、「パリ協定」を受けての地球温暖化対策に関する活動など、公衆衛生の向上のために、これまで地道に活動してまいりました各地区的公衆衛生推進協議会や私も環保協への期待は、ますます高くなつてしまふと考えております。

昨年は創立60周年を迎えるあたり、協会を支えていたいいる公衛協をはじめ、関係団体やお客様地域の皆さまへ、感謝の気持ちを伝えるため、さまざまな記念事業を展開してまいりましたが、充分ではない部分もあつたことと思います。また、去年12月1日、第58回広島県公衆衛生大会と併せて挙行した記念式典に、多くの方々

が今年大きく成長することを示しているように、新しい芽を育て成長させて、地域社会の発展と住みよい未来の創造に、更に貢献できますよう役員丸となつて取り組んでいく所存です。どうか本年も変わらぬご支援・ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。最後になりましたが、戌の年は皆さまのご多幸を祈念して、新年のごあいさつとさせていただきます。

式典が行なわれ、市町や行政担当者、一般参加者

にご参加いただき、盛会のうちに開催されました。そのためましてお礼申しあげます。

今年は戌(うのえいぬ)の年です。「戌」は、植物の成長が絶頂期にある状態を、「戌」は、草木が枯れる状態といふ意味があり、「戌戌」は、昨年燃え尽きた豊かさや幸せの灰の中から、新たに芽生えたものが今年大きく成長することを示している

ことです。環保協も60年間培つてきた信頼や、環境と健康に関わる技術、地域に密着した公衆衛生活動を基盤とし、新たな時代に向け、新しい芽を育て成長させて、地域社会の発展と住みよい未来の創造に、更に貢献できますよう役員丸となつて取り組んでいく所存です。どうか本年も変わらぬご支援・ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。最後になりましたが、戌の

年は皆さまのご多幸を祈念して、新年のごあいさつとさせていただきます。

拍手によって採択されました。大会宣言に掲げる6つの項目は、向こう1年間の公衛協活動の柱と

続いて「環境と健康のポスター・標語コンクール優秀作品表彰式」を実施。最優秀賞を受賞した児童・生徒をはじめ、広島市周辺の江田島町、坂町、安芸太田町、北广島町から32人が出席し、佐藤理事長から表彰状とトロフィーを受け取りました。入選作品95点は大会資料に掲載し、「ヒマワリ」に展示しました。

また、ポスター・標語コンクール事業の10周年記念展示として「ダリア」に、平成20年から昨年までの優秀作品全586点を展示しました。

公衆衛生大会に続い

て、協会創立60周年記念式典が行なわれ、市町や行政担当者、一般参加者

が、今年の「1万人の工コエック事業おたのしみ抽選会(関連記事2面参考照)」は、午前中に実施されました。

今年の「1万人の工コエック事業おたのしみ抽選会(関連記事2面参考照)」は、午前中に実施されました。

## 大会宣言

私たち公衆衛生推進委員は、積み重ねられた60年の歴史の中で、行政や他団体と協働しつつ、自主的・組織的なコミュニティ活動をとおして、公衆衛生思想の普及向上に努めてきました。しかし、地球温暖化やごみ問題、生活習慣病の増加など、深刻かつ緊急を要する課題は山積しています。

昨年3月に見直された「瀬戸内海環境保全広島県計画」や昨年5月に閣議決定された「地球温暖化対策計画」などでは、住民の継続的な環境保全活動の果たす役割が明確に位置づけられ、これまで以上に「快適な環境づくり」が重要な活動テーマとなっております。

また、健康づくりでは今年10月に国の「がん対策推進基本計画」が見直され、がん検診の受診率向上が喫緊の課題となっています。

私たちは地域の課題に積極的に対処しながら、人々がより快適で健やかに暮らせる活力あるコミュニティの実現をめざし、これまでにも増して地域のリーダーとして機能を発揮する必要があります。

そこで、「健やかな暮らしをつくる人々の集い」をテーマに開催するこの大会を契機に、次の6つの項目について、より積極的・効果的に取り組む決意を示し、地域リーダーや関係者一同の情熱と知恵と行動力を結集し、その実現に向けて邁進することを宣言します。

- 1.生活空間の美観の確保と快適な環境づくりの推進
- 2.住民・行政・事業者の連携による脱温暖化のまちづくりの推進
- 3.生活習慣の見なおしと実践活動による健康づくりの推進
- 4.ごみ減量に向けた3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進
- 5.世代を超えた健康学習・環境学習の推進
- 6.上記の5つの項目を実現するためのコミュニティ組織の強化

平成29年12月1日 第58回広島県公衆衛生大会



一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~  
**広島県環境保健協会**

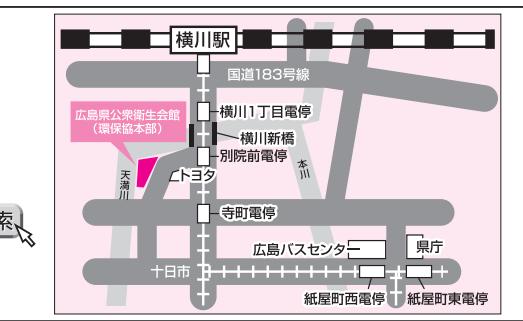
〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)

TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

基本理念

~みんなの生命(いのち)をまもりたい~

私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。





1992年以降、2年に1度のペースで日本人が宇宙に出ている。私は、毛利飛行士、向井飛行士、若田飛行士に続き、1997年に国際宇宙ステーションに滞在して船外活動を経験した。

2008年に日本の実験棟「きぼう」が宇宙ステーションにドッキンし、2010年には野口飛行士と山崎飛行士が同時に宇宙に居たこともあります。

2014年に若田飛行士が宇宙ステーションの船長に任命され、日本人宇宙飛行士の力量が世界に認められました。今後は、日米協働で月面有人探査実現に取り組む。

2010年から約400キロの上空にあり、90分で地球を1周する。

全長約110メートル幅70メートルで、通常6人の宇宙飛行士が滞在し、研究や船外活動を行う。

宇宙から見た地球は丸く、薄い大気の層が太陽の光を受けて青く輝き、とても美し



京都大学特定教授  
宇宙飛行士  
土井 隆雄 先生

## 「宇宙と地球環境」 創立60周年記念講演・祝賀会を開催

**水蒸気による温室効果と  
絶妙なバランスの水循環**

[講演要旨]

い。標高8千848メートルのエベレストも地表にできた鏡のように見え、ガンジス川のデルタには複雑に入り組む支流が見える。オーロラは宇宙ステーションと同じ高度で発光するので、窓から水平に見える。

「水の惑星」と表現される地球の水を集めると、直径1千389キロの球になる。(地球の10分の1)すぐに使える淡水に限ると、わずか直径56キロだとしかない。水は非常に貴重である。

海洋は気候の維持に大きな役割を持つ

いる。海面で発生した水蒸気の9割が海上への降雨や水蒸気として

存在している。温室効果ガスの筆頭にあがるのは「酸化炭素」だが、実は、水蒸気が地球温暖化に大きな影響を与

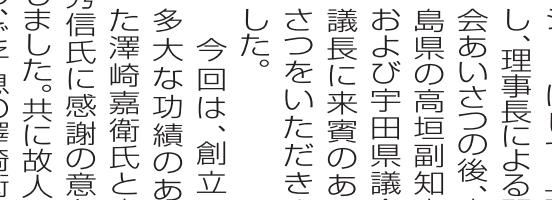
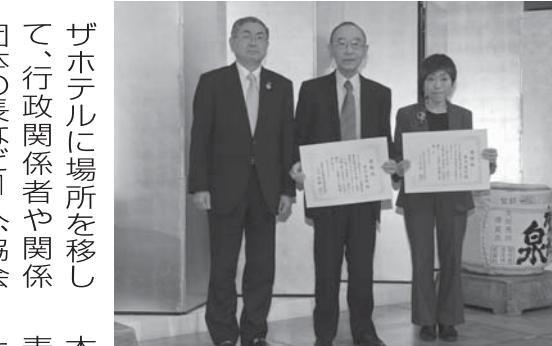
えている。絶妙なバランスで循環している水蒸気が、海水温の上昇に伴って大気中の水蒸気が増加すると、温室

効果がさらに高まる」という懸念される。宇宙で活動をして、2つの感動があった。「宇宙から見た地球の

美しい」と「人間の素晴らしい」である。そして、大好きな言葉は、「宇宙を指せ」である。

(文責 地域活動支援センター)

## 60周年を記念して祝賀会を開催 関係者への感謝と 協会の将来への夢



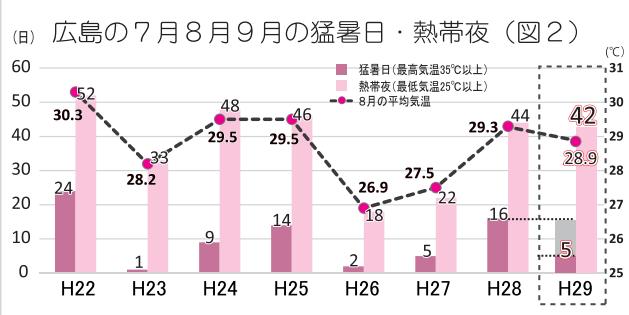
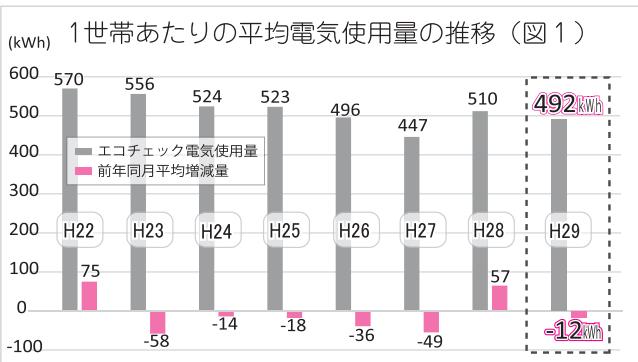
アドバイスをして、表彰を行った。また、協会の将来に目を向けて、地域活動支援センターをはじめとした4つのセンターの若手職員に、これから協会に対する夢を語ってもらいました。

発表者は、「A-1、A-2を活用した職員の働きやすい職場づくり、「まちづくり=環境協力」「まちづくり=環境協力」など、それぞれの立場

彰を行い、公衛協のPRグッズや省エネグッズを贈呈しました。また、お楽しみ抽選会では、広島県食品主衛生管理認証施設の「お菓子セット、家電の消費エネルギー測定器、マツダスタジアムの観戦チケット合計50本の景品を当選公衛協に手渡しました。

引き続き、推進委員会を核として、地域の省エネが進むよう継続して取り組みをお願い

## 1万人のエコチェック事業報告 地域の省エネリーダーを育成 3,580枚のカードが集まる



「1万人のエコチェック事業」は、県全体で環境問題とりわけ二酸化炭素の排出抑制に取り組む生活習慣の確立を目的に、県内約1万人

の公衆衛生推進委員が家庭で省エネに取り組み、電気などの使用量

と比較して、その効果を

把握!! 「見える化」で

数値として見える事業

を前年同月と比較して、

その効果を現を目標に脱温暖化の実現を目指す。

「見える化」で

脱温暖化の実現を目標に

できる地域

が太陽の光を受けて青く輝き、とても美し

た地球は丸く、薄い大気の層

が太陽の光を受けて青く輝

き、とても美し

た地球は丸く、薄い大気の層





記念講演「イキイキ長寿健康法～腸を大切にすれば元気に生きられる～」(上)、各地公衛協の活動紹介パネルコンテスト会場(中)、うちエコ診断コーナー(下)、おのみち市民健康まつり実行委員会おのみち市尾道市総合福祉センターで開催され、1千400人が参加しました。健康まつりは、尾道市、尾道市公衆衛生推進協議会おのみち市民健康まつり実行委員会が尾道市総合福祉センターで開催され、1千400人が参加しました。

講演では、「カイチユウ先生」として有名な藤田先生が、実際に自分が「これは良い」と感じた取り組みにシールを貼るパネルコンテストを実施しました。自分

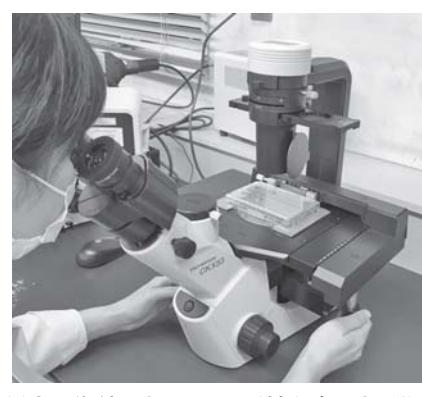
の地区的パネルを探してもらえるように展示室を設け、来場者が展示をまとめたパネルの展示を熱心に見ました。尾道市公衛協は、各地区公衛協の活動をまとめたパネルの展示を設け、来場者が展示を熱心に見ました。

また、うちエコ診断コーナーでは16件の診断を実施し、シール貼付型アンケートによる省エネの啓発も行われました。そのほか、秋空わやかウォーキングや健康新体操、太極拳など各種測定、献血、骨髄バンクへの登録呼びかけ、フリーマーケットや特産品、飲食物の販売がありました。(地域活動支援センター)

### 環保協の 環境生活 センター ⑥食品衛生課

#### 抗ウイルス加工製品の評価試験

##### 昨年度より検査体制を整備



倒立顕微鏡でウイルスの活性を確認する職員

の有無を確認することで、製品の抗ウイルス性能を評価しています。

当協会では、昨年度から抗ウイルス性試験の検査室を整備してきました。抗ウイルス加工製品の市場はますます拡大すると予想されます。今後も新しい製品の有効性を正しく評価できるよう、技術力向上に取り組んでまいります。

(食品衛生課)

## 第35回おのみち市民健康まつり1,400人が参加 尾道市公衆衛生大会やパネル展示を実施

会の共催です。

当団は、今年創立60周年を迎えた尾道市公

衛協が主催する「第40回尾道市公衆衛生大会」に続き、「イキイキ長寿健康法～腸を大切にすれば元気に生きられる～」と題し、東京医科大学名譽教授藤田紘一郎氏が記念講演を行いました。

講演では、「カイチユウ先生」として有名な藤田先生が、実際に自分が「これは良い」と感じた取り組みにシールを貼るパネルコンテスト

を実施しました。自分

が尾道市公衆衛生大会

回

や、腸内の環境、腸内細菌が特に大事であるこ

と、がんなどの病気の大

きな原因であるストレ

スによる免疫低下を防

ぐことで健康で長生き

ができるなど、興味

深い話が聞かれまし

た。



## イベントカレンダー(1月~3月)

- |           |                              |
|-----------|------------------------------|
| 1月10日     | アイドリングストップ運動(大崎上島町)          |
| 1月11日     | 御大師八十八力所巡りウォーキング(大崎上島町)      |
| 1月18日～19日 | 専門研修「企画づくりコース」(ゲリーパアセどうち・呉市) |
| 1月31日     | 定例会・募金委員会(公衆衛生会館・広島市)        |
| 2月3日      | エコカフェ・エコクッキング(廿日市市阿品)        |
| 2月8日      | 御大師八十八力所巡りウォーキング(大崎上島町)      |
| 2月9日      | 脱温暖化推進員フォーラム2018(広島市)        |
| 2月10日     | 緑の仲間フェスタ(府中町)                |
| 2月17日     | エコカフェ・エコクッキング(廿日市市中央)        |
| 2月17日・18日 | 産業文化祭「すみれ祭り」(大崎上島町)          |
| 2月25日     | ごみポイ捨て「0」、バトロール事業(福山市松永学区)   |
| 3月8日      | 御大師八十八力所巡りウォーキング(大崎上島町)      |
| 3月11日     | 献血(海田町)                      |
| 3月14日     | ブロック会議(公衆衛生会館・広島市)           |
| 3月15日     | ブロック会議(環保協東部支所・福山市)          |
| 3月16日     | ブロック会議(みよしまちづくりセンター・三次市)     |
| 3月25日     | 悠々健康ウォーキング大会・ごみダイエット作戦(坂町)   |

第1章として  
21日・22日に開催された  
「府中つばき祭り」の  
公衛協ブースで、たばこ  
の害やがん検診の重要  
性を訴えるパネルの展  
示、紙芝居の上演、アン  
ケートを行いました。

今後も継続して行政  
と連携した健康づくり  
事業を展開し、町民の  
健康づくりに寄与する  
活動に期待します。

# 平成29年度 地区衛生組織活動資金募集



# 『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、平成29年度で58回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金  
総額(田)

**52,027,065**

更多資訊請到 [www.104.com.tw](http://www.104.com.tw) 或到 104 專業人才網查詢。

- 環境衛生に配分された募金は、以下のよるな事業に活用しています。
  - 公衆衛生推進手帳の作成・配布
  - 公衆衛生推進委員養成に関わる各種研修の開催（夏季大学など）
  - 全県共通事業重点メニュー（1万人のエコチェック事業、公衛協発ウォーキング事業の提供グッズの作成など）
  - 広島県公衆衛生大会の開催
  - 環境と健康の学習リーパーの運営

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	1,250,200	75.0
海田町	1,979,981	82.5
熊野町	1,442,870	100.6
坂町	370,110	98.9
江田島市	1,829,500	98.7
竹原市	1,652,400	98.4
大崎上島町	317,100	93.0
大竹市	2,484,080	97.9
廿日市市	3,225,316	95.2
廿日市市大野	2,505,050	99.1
廿日市市佐伯	411,052	100.0
廿日市市吉和	56,700	107.0
廿日市市宮島	193,100	94.8
安芸太田町	738,500	97.8

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	1,084,900	99.1
安芸高田市	1,331,900	62.2
東広島市	4,266,990	95.1
三原市	1,593,380	90.1
世羅町	774,400	85.2
尾道市	4,078,400	91.0
福山市	8,278,694	93.0
府中市	1,090,714	99.5
神石高原町	0	0.0
三次市	1,172,760	47.4
庄原市	2,237,440	88.8
吳市	7,593,074	97.8
その他	68,454	124.0
合計	52,027,065	90.2

市町別一覧表

※この表は、平成29年11月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています